



- 小金井市版 -

2015年陽春号

民主党プレス民主編集部

東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp



●お問合せ・購読申込などは
民主党プレス民主編集部または

【民主党小金井支部】

〒184-0012
小金井市中町4-12-11-406

TEL:042-386-5771/FAX:042-386-5773

新福祉社会館建設の共同研究予算を平成27年度予算より撤回!

現在の福祉社会館は昭和43年に竣工され、平成22年実施の耐震診断で耐震補強等の対策が必要との診断がなされています。

なぜ耐震補強を行えないのか!? →では、現地での建替え工事は!? ⇒よって市有地での早期建設が必要!

- ①大規模改修が必要となり、予算面で建替えと変わらない。
- ②工事中の施設機能の移転先がない。
- ③補強工事で鉄骨等が入ることによりバリアフリーではなくなる。

- ①現在の土地は市の所有ではない。
- ②現在の法律では建ぺい率や容積率の問題から同規模の建物を建築することができない。
- ③建替え中の一時移転先がない。

市は本町暫定庁舎(第2庁舎斜向かいの駐車場がある場所)に新福祉社会館を建設することを行政決定し、通常より1年以上早い3年での建設を可能とする法政大学との共同研究を提案しました。



若手職員の新たな発想は評価するが、行政としての提案体制に問題がある。

今回の提案は若手職員の熱意ある発想から生まれたものであり、地元大学との協働事業は公民連携の良きモデルとして期待するものですが、**市議会予算委員会にて建築士法に抵触する恐れがあるとの指摘に対し市長は「精査する時間が欲しい」として提案を撤回**しました。

地方自治体にとって法的問題は当然にクリアすべき問題であり、庁内での十分な協議や意識の共有がなされた上での提案だったのか疑問があります。

高齢の方や福祉作業所へ通所されている方の負担を考えれば、まず建設場所を決定し、仮移転ではなく早期の建設を実現するべきであり、行政としての決断が求められます。

市の今後の方針については4月14日に開催される連合審査会での経緯報告を受けてご報告します。

東センター委託予算の執行停止を求める付帯決議が全会一致で可決!

市は東センター(公民館・図書館)の運営を、昨年4月に開館した貫井北町センターを運営するNPO法人「市民の図書館・公民館」に委託する予算案を提出しましたが、NPO法人との十分な協議ができていないことが民主党の質疑で判明。

委託は反対ではないが、進め方に問題!

- ① 公民館運営審議会や図書館協議会が答申において警鐘を鳴らした問題点が解消されていない。
- ② NPO幹部との口頭折衝だけで委託を進めようとしており、理事会を含めて理解が得られている状況ではない。
- ③ NPOは設立1年であり、体制が不十分なまま委託を強行することは市民との信頼関係を損ね、将来に禍根を残す。

民主党主導で拙速な委託を凍結!

NPOは安価な下請けではなく、市民協働と公民連携を実現する為の重要なパートナーであることを市は認識すべき。だからこそ拙速な委託を押し付けるのではなく、NPOの体制が整うまで丁寧な協議を重ねることを求めました!

議案第6号 平成27年度小金井市一般会計予算に対する付帯決議

小金井市の図書館サービス、公民館業務の運営については、市民協働、公民連携の理念に基づき、平成26年4月からNPO法人による貫井北町センターの運営が開始されたところである。平成27年度からは、さらに東センターの事業運営委託についても同NPO法人への委託が開始されようとしているが、この委託の進め方や同NPO法人の事業運営の在り方について、市議会に委託の賛否も含めて一定の意見が出されている。

平成27年度第1回市議会定例会において市長から提出された本件予算には、当該事業運営委託に関連する予算が計上されているところであるが、予算特別委員会における本件予算の質疑に鑑み、小金井市公民館運営審議会並びに小金井市図書館協議会の答申を尊重し、委託先であるNPO法人との合意が得られ、業務が遺漏なく行われることが確認でき、あらためて市議会の理解が得られるまで、関連する予算の執行を停止するよう求める。

これに対し、市長は・・・

「付帯決議がなんなんだという思いもなくはないが、決議の内容を参考に**予算の適正な執行に努めて参ります。**」と発言。付帯決議は予算執行の停止を求めるものですが、法的拘束力はなく、委託を強行することは可能です。しかし、**市民代表である市議会が全会一致で決議したことは大きな意味**があり、今後の市長の対応を注視していく必要があります。

平成27年度予算案(一般会計予算 373 億 4,000 万円)が可決成立!

僅差での可決! 市民生活への責任は...

賛成 ⑫ 民主②、自民⑤、公明④、改革①

反対 ⑪ 共産④、ネット②、みんな②、市民自治、市民会議、こがおも

与党議員が起立し忘れそうになり、危うく否決になる一幕も!?



	平成26年度(千円)	平成27年度(千円)	増減(%)
一般会計	35,150,000	37,340,000	6.2
特別会計	21,920,627	23,981,023	9.4
合計	57,070,627	61,321,023	7.4

平成27年度予算注目の事業!

- ☆ 可燃ごみ共同処理事業 約3億7,520万
- ☆ 保育所運営等委託料 約13億7,497万
- ☆ 武蔵小金井駅南口再開発補助金 約4億2,000万
- ☆ 学童保育の運営委託事業 約1億2,880万
- ☆ プレーパーク運営委託事業 約5,630万
- ☆ 玉川上水人道橋の架設 約5,100万
- 撤回! 新福祉社会館設計業務負担金 約4,820万
- 凍結? 東センター運営委託料 約2,560万

課題は指摘し、市民生活は前に進めます!

可燃ごみの共同処理や待機児解消施策など市民生活に直結する予算に反対?

確かに新福祉社会館や東センターなど課題の多い事業もありますが、そこは厳しく指摘して是正を求め、市民生活はしっかりと前へ進めていくことが必要です。

小金井市議会民主党は今後も市民の皆様とともに、良いものは良い、悪いものは悪いという是々非々の立場で市政にとって建設的な議論を進めていきますので、皆様の声をお寄せ下さい!!

小金井市議会民主党の提案がカタチになっています!

民主党小金井支部ローカルマニフェスト2013

- ① 災害時要援護者支援事業で地域コミュニティを拡大
- ② 放課後子どもプランの拡充や学校支援地域本部の実現
ホームスタートの導入や駅前送迎ステーションの開設
- ③ 原発ゼロを目指し、再生可能エネルギーの促進
- ④ 入札改革・公契約条例の制定による地域振興

を含む

100



項目の予算要望書を稲葉市長に提出!

その結果...

民主党が提案した☆小規模保育がスタート!

施設の名称	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	備考
こむぎ保育園	6	4	6	8	6	7	37	定員拡充・認可
駅前コスモ保育園	0	-2	0	6	7	6	17	認証→認可へ移行
小金井北ブチ・クレイン	-3	-2	2	5	2	9	13	認証→認可へ移行
ういず武蔵小金井	6	10	11	11	0	0	38	新規開設・認可
第四コスモ保育園	6	6	7	0	0	0	19	☆小規模保育
東京工学院きしゃぼぼ	6	6	7	0	0	0	19	☆小規模保育
こどものへや保育室	2	8	9	0	0	0	19	☆小規模保育
また明日保育園	3	6	0	0	0	0	9	認可外→認可へ移行
本間家庭の保育事業者	2	2	0	0	0	0	4	認可外→認可へ移行
小金井公園ハイジ保育園	9	12	12	3	2	2	40	新規開設・認証
定員枠の拡大合計	37	50	56	33	17	24	215	

平成27年度予算で実現した政策(抜粋)

- ☆ 認可保育園増設を含む早急な待機児童対策
- ☆ 0~2歳児に特化した小規模保育の活用
- ☆ 家庭福祉員の拡充
- ☆ 学校支援地域本部の取組が試行
- ☆ 常設プレーパーク事業の開始
- ☆ 特別支援教育支援員の配置拡充
- ☆ 福祉マップの作成
- ☆ スクールソーシャルワーカーの増員
- ☆ スクールカウンセラーの時間増
- ☆ 食育コーディネーターの配置

※上図は平成27年度当初予算での拡大枠であり、今後更に、90名と60名認可園、19名小規模保育園を整備予定!

民主党小金井支部メンバー



顧問
菅 直人
(衆議院議員)



代表
西岡 真一郎
(前 東京都議会議員)



支部長
鈴木 しげお
(小金井市議会議員)



幹事
村山 ひでき
(前 小金井市議会議員)



幹事
岸田 正義
(小金井市議会議員)